

RV215Wの帯域幅管理

目的

帯域幅は、時間の経過に伴うデータ転送のレートです。RV215Wでは、アップストリーム、ダウンストリーム、およびサービスプライオリティの設定により、帯域幅を設定してネットワーク効率を向上させることができます。サービスプライオリティは、RV215WがHTTPやDNSなどのサービスに優先順位を付けることができるQuality of Service(QoS)機能です。これは、特定のサービスの帯域幅の使用を管理するのに役立ちます。

この記事では、ユーザがRV215Wの帯域幅を管理する方法について説明します。

該当するデバイス

- RV215W

[Software Version]

- 1.1.0.5

帯域幅管理

ステップ1:Web設定ユーティリティにログインし、[QoS] > [Bandwidth Management]を選択します。「帯域幅管理」ページが開きます。

Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	10240	40960
3G	4096	1024

Enable	Service	Direction	Priority	Interface
<input type="checkbox"/>	All Traffic[All]	Upstream	Low	Both (Ethernet & 3G)

ステップ2:[Bandwidth Management] フィールドの[Enable]をオンにして、帯域幅の設定を行います。

帯域幅テーブル

Bandwidth

The Maximum Bandwidth provided by ISP

Bandwidth Table		
Interface	Upstream (Kbit/Sec)	Downstream (Kbit/Sec)
Ethernet	<input type="text" value="10240"/>	<input type="text" value="40960"/>
3G	<input type="text" value="4096"/>	<input type="text" value="1024"/>

ステップ1:[Upstream (Kbit/Sec)]フィールドに目的のインターフェイスの値を入力します。この値(Kbps)は、RV215Wがインターフェイスにデータを送信するレートです。これはアップロード速度と呼ばれます。

注：インターフェイスの選択は、RV215WがWANポートのイーサネット接続またはUSBポートの3Gモデムを介してインターネットに供給されるかどうかに基づいています。

ステップ2:[Downstream (Kbit/Sec)]フィールドに目的のインターフェイスの値を入力します。この値(Kbps)は、RV215Wがインターフェイスからデータを受信するレートです。これはダウンロード速度と呼ばれます。

注：接続されたISPによって提供される最大帯域幅が[Bandwidth]フィールドに表示されます。

ステップ3:[Save]をクリックします。

帯域幅プライオリティテーブル

Bandwidth Priority Table					
<input type="checkbox"/>	Enable	Service	Direction	Priority	Interface
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	All Traffic[All]	Upstream	Low	Both (Ethernet & 3G)
Add Row Edit Delete Service Management					

ステップ1:[行の追加]をクリックして、新しいサービスプライオリティを追加します。

ステップ2:[Enable] をオンにして、サービスプライオリティを有効にします。

ステップ3:[Service]ドロップダウンリストから、優先順位を付けるサービスを選択します。

注：サービスを追加、編集、または削除するには、[Service Management]をクリックします。

ステップ4:[Direction]ドロップダウンリストから、トラフィックの優先順位を設定する方向を選択します。

ステップ5:[Priority]ドロップダウンリストから、指定したサービスプライオリティのプライオリティレベルを選択します。

ステップ6:[Interface]ドロップダウンリストから、サービスプライオリティが適用されるインターフェイスを選択します。

ステップ7:[Save]をクリックします。